

【93】淀川の長さ

淀川の長さというと、国土交通省の資料やそれに基づく理科年表では、“幹線流路延長”として、あの大河にしてはわずか75kmとあるのでアレッと目を疑いますが、どうやらこれは大阪湾の河口から淀川が流れ出す滋賀県大津市瀬田の琵琶湖までの距離のようです。琵琶湖に流入する河川のことは勘定に入っていません。

一方、河川の最下流部に大きな湖があってそこへ流入する河川の例として島根県の斐伊川（ひいがわ）がありますが、この場合斐伊川の長さは斐伊川が流入する宍道湖（しんじこ）さらにその下流の中海（なかうみ）の長さも加えた総計153kmという数字になっています。淀川の2倍の値になります。

淀川の場合、一番遠くにある水源は琵琶湖への流入河川「姉川」の支川「高時川」（たかときがわ）の上流の滋賀県と福井県との境にある「栃の木峠」の下になりますが、琵琶湖の長さをも加えた大阪湾口から水源までの総延長は約170kmとなります。

河川の流路の途中に大きい湖沼がある場合の“河川の長さ”の定義については、海外の事例も参考にして（例えばエニセイ川—バイカル湖—セレンゲ川）、定義を統一しないと学童を含めて混乱しかねません。